

SANJO ROTARY CLUB

三条ロータリークラブ

週報 No. 20

2010.11.24 (No.2617)

第2560地区ガバナー／東山 昕也
会長／樺山 仁
会長エレクト／山田 富義 (クラブ奉仕A)
副会長／杉山 幸英 (クラブ奉仕B)
幹事／明田川 賢一
S A A／若槻八十彦
会計／松永 一義

例会日／毎週水曜日 12:30～
例会場及び事務局／
三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
例会場／TEL 34-3311
事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095

E-mail: sanjo-rc@cpost.plala.or.jp
http://www.soho-net.ne.jp/~rotary/
(へはshiftを押しながら“へ”のキーを押してください)

- 本日の出席会員数:54名中28名
- 先々週出席率:84.31%

【ヴィジター】

三条北RCより
・山上茂夫さん

【先週のメイクアップ】

- [11.20・21] 地区大会 (上越) へ
- ・樺山 仁さん、明田川賢一さん、
 - ・五十嵐昭一さん、会田二郎さん、
 - ・小出子恵出さん、近藤雄介さん、
 - ・斎藤弘文さん、渋谷健一さん、
 - ・田中 仁さん、成田秀雄さん、
 - ・西山徳芳さん、野崎喜一郎さん、
 - ・平原信行さん、丸山行彦さん、
 - ・山田富義さん、若槻八十彦さん、
 - ・渡辺勝利さん (以上 17名)

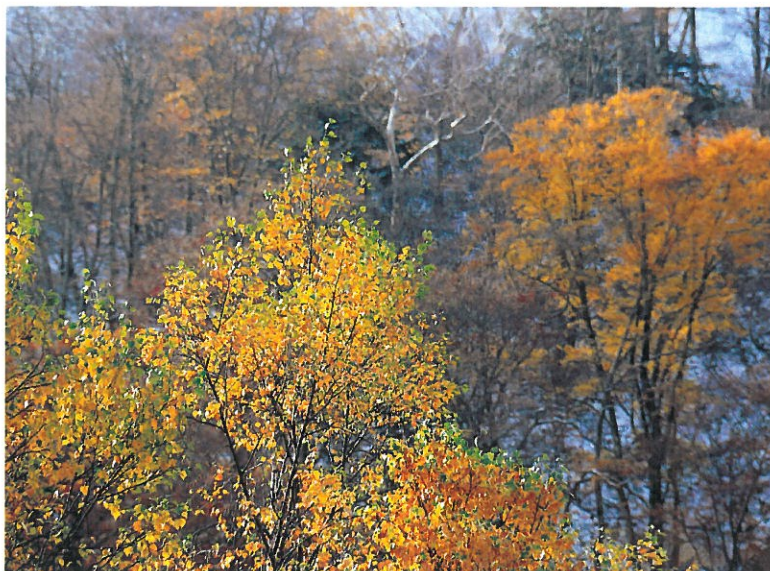
[11.22] 三条南RCへ

- ・伊藤寛一さん、山田富義さん、
- ・五十嵐晋三さん、藤田紘一さん、
- ・熊倉昌平さん、中村和彦さん、
- ・浅野金治さん、加藤紋次郎さん



「地域を育み、大陸をつなぐ」

2010～2011年度国際ロータリーのテーマ



荻根澤隆雄 会員より

会長挨拶

樺山 仁 会長



御挨拶致します。

人間は生活して行く上で、色々なストレスにあいます。そしてそのストレスを適度に解消しながら、生きている訳です。

ストレスの解消には色々な方法がありまして、例えばジョギングをしてみるとか、音楽を聴くとか、演奏するとか、別の刺激が体の中に入ってくると、ストレスの解

消になります。

身体がリフレッシュになるので、心の中のモヤモヤが消える事で、身体を使ったりする事が大切とされております。

貝原益軒の養生訓に「心は楽しむべし、苦しむべからず、身は労すべし、やすめ過すべからず、凡そ我が身を愛し過すべからず」とあります。

日頃私共が生活して聞き流しているものに、音楽があります。音楽は生活して行くのに必ず必要なものではありませんが、生きて行く中でのメンタル的なエッセンスを必要とするのが人間であります。

喜怒哀楽の中での生活で、人は反射的にメンタルな音に反応し、音楽によって心が癒され、生活のリズムを整えられるようです。

世界の言葉の中で、共通で共用出来るのは音楽でありまして、五線譜の中のオタマジャクシによって、人として潤いも保ち生活して来ております。

テレビドラマの放送の中で、音楽がなかったらどうでしょう。おそらく無味乾燥で、おもしろさが欠けているでしょう。

我々は日常生活で、無意識の中で音楽を取り入れており、音楽なしでは生活して行けない訳です。

音楽を正面から聴けば、作曲者の音に傾ける情熱と育った国柄が理解出来ますし、聴く我々もその音の広がりやに陶酔し、心身共にリラックスして満足感を得る事が出来る訳で、BGMのように何となく耳に入ってくる音ですらも、人のバランスを整え、生活のリズムを造っていくものと思われれます。

ミュージックセラピーなどは、その効用を最大限に利用している訳で、今日は音の効用について考えてみました。

幹事報告

明田川賢一 幹事

◎東山ガバナー事務所より、「ロータリーレート変更なし」と連絡が届いております。

12月1日からも1ドル82円（現行）

も出ません。

山田富義さん

地区大会に出席してきました。

五十嵐昭一さん

20日・21日の上越の地区大会ではお世話になりました。いろいろ勉強にもなりました。

渋谷健一さん

地区大会では大変お世話になり有難うございました。

平原信行さん

地区大会に参加させていただきました。

ボックスのピンチヒッターを前委員長にお願い致しました。

明田川賢一さん

地区大会、参加してくれた皆様お疲れ様でした。

小出子恵出さん、若槻八十彦さん、会田二郎さん、藤田紘一さん、杉山幸英さん、高橋 司さん、よいことがありました。

スマイルボックスに協力いたします。

11月24日分 ￥19,000

今年度累計 ￥455,000

ニコニコBOX

山上茂夫 様 (北RC)

何時も有難うございます。暖かく迎えていただき感謝です。

樺山 仁さん

地区大会も無事に終り出席会員に感謝でございます。此の大会が終ればなんとなく自分の仕事も終わった気になりました。参加した会員より報告いただきます。よろしく！

渡辺勝利さん

快晴に恵まれた地区大会御世話様でした。

伊藤会員、黒部旅行の特大写真ごちそう様。

菊池 渉さん

今年もあと一ヶ月かと思うと「さみしく」なります。一日一日大切にしないでと深く考えています。

斉藤弘文さん

新潟日報に掲載された記事の顔写真が良いと熊倉先生からほめられました。

小越憲泰さん

この連休、女房と二人で車で静岡・名古屋方面に行ってきました。素晴らしい紅葉でした。

松永一義さん

昨日、長野のリンゴ狩りに行ってきました。

もぎたてのリンゴを丸かじり、歯ぐきは、まだ血

12月のお祝い

◎夫人誕生祝

1日 若槻由美子さん (八十彦さん)

18日 荻根澤愛子さん (隆雄さん)

18日 菊池まゆみさん (渉さん)

◎結婚記念祝

4日 渋谷健一さん (トヨさん)

9日 杉山幸英さん (敏子さん)

◎100%出席賞

4年 若槻八十彦さん

三条ロータリークラブ夜例会

「ファミリークリスマスパーティー」

日時 平成22年12月22日(水) 受付18:00～
開会18:30～

場所 越前屋ホテル 2階 平安の間

会費 メンバー 5,000円

ご同伴者(ご夫人含む) 2,000円

お子様 無料

※12月10日(金)までにご出欠をご連絡ください。

2010-2011年度「地区大会」

去る11月20日(土)～21日(日)、上越市に於いて「地区大会」が行われ、17名の方々よりご出席いただきました。

クラブ・フォーラム「地区大会報告」

榊山 仁 会長

11月20日～21日地区大会の報告をさせていただきます。

地区大会の目的は親睦、感銘深い講演と、地区内のクラブの諸問題を討議する事によって、ロータリーの綱領を推進する事にあります。

各地区大会は、クラブの成功した活動の事例を発表する場となり、各クラブ同士が交流し、対話しながら地区内の基盤を強固にする事が目的であります。

今年度の2560地区の地区大会は、高田RCがホストクラブで開会点鐘に始まり、会長幹事、R財団米山等、会議とセミナーが午後1時からありまして、夕方5時より小沢一彦RI会長代理歓迎晩餐会がありました。21日は、午前中会議と午後記念講演、そして親睦交流会と、2日間に渡っての大会でありました。

第1日目は、東山ガバナーの挨拶に続き、小沢一彦(横須賀RC)RI会長代理の挨拶と続き、2560地区との「友絆」についてお話があり、ロータリー奉仕活動が、この情報交換や研修によって少しでも地域づくりの活動が出来ます様にとの事でした。

地区のクラブ奉仕・広報委員長 大谷光夫氏(高田RC)、職業奉仕委員長 永井譲氏(新潟万代RC)、社会奉仕委員長 横田泰伊氏(新井RC)、国際奉仕委員長 室賀信宏氏(白根RC)、新世代奉仕委員長 今井典範氏(柏崎東RC)、ロータリー財団委員長 中條耕二氏(三条北RC)、米山奨学委員長 新保清久氏(新潟万代RC)の7委員会の報告がなされました。

各クラブの運営は色々な仕方がありますが、全てのクラブは親睦と奉仕と言う目的は共通であります。今回の高田RCの運営は、誠に完成されたものであったと思います。これも東山ガバナーの真直ぐな考え方で、「地域を育み、大陸をつなぐ」の活動を一步前進した訳で、これも参加された多くのRCメンバーの熱い思いと理解されます。

本日は、当三条クラブの参加されたメンバーから、五十嵐財団担当、山田会長エレクト、会田国際奉仕担当、西山クラブ奉仕担当、各メンバーから感想及び報告をしていただきますので、よろしく願います。

五十嵐昭一 会員

際ロータリーフォーラム



<地区委員長報告>

○ロータリー財団地区委員会報告
委員長 中條耕二(三条北)

●超我の奉仕-「もっとも奉仕する者。もっとも多く報われる」
今年4月にシカゴ審議会で歴史的

認識という位置づけから、日本の提案であらためて正式な標語として採択され、財団の基金をつくるバックボーンとなっています。

●東山ガバナーの目標

地区のロータリアン1人当たり、100ドルの寄附をお願いしようということです。そしてポールハリスフェロー1,000ドルをロータリー財団に寄附して欲しいとのお願いです。

●国際親善奨学生

多くの国の有望な学生を他国に派遣して奨学生に勉学の機会を与え、友好と国際理解を増進することを目的としています。

●研究グループ交換(GSE)

一つの国から別の国に、専門職務と事業に従事する人のチームを交換するという考えで作られており、4週間から6週間となり、今年はオランダとの交換です。

●マッチング・グラント

地域・世界の社会奉仕プロジェクトが条件を満たすと補助金を受けられ、人道的プログラムが適格条件であります。

●地区補助金

地域社会のために行われる短期の人道的プロジェクトをロータリー地区が支援するものです。

●ポリオ・プラス

ポリオ(小児マヒ)プラス(ハシカ、ジフテリア、結核、破傷風、百日セキ)の五つの伝染病を地球上より追放する大目標を掲げた大事業で、あと1%99%達成しております。

●ロータリークレジットカード

1クラブから1人以上のご加入をお願いしたい。利用金額の0.3%が財団に入金されます。

○米山記念奨学委員会報告

委員長 新保清久(万代RC)

●日本で学ぶ、私費留学生に物(奨学金)心(カウンセラー制度)両面の支援を行って、将来の日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって活躍する人材を育成することを使命としております。

●新規受入19名 継続7名

- 国別 (10) 中国、ベトナム、マレーシア、モンゴル、韓国、台湾、インド、タイ、ロシア、カナダ
- 学校別 (9) 新潟大学、長岡技術科学、新潟産業、上越教育、国際、新潟経営、敬和学園、新潟工科、新潟薬科
- 受入は、日本の学校年度に合わせて4月よりで、6月「日本文化体験ツアー」、8月「米山奨学生親睦交流会」等々の行事を行っています。
- 今年目標はロータリアン1人当り18,000円となっており、10月現在5,883円です。よろしくお願ひ致します。

<地区指導者研修会>

○ロータリー財団地域セミナー

片岡暎子 (R1日本事務局財団前室長・川口西RC)

- 演題「ロータリー財団プログラムをもっと使おう」
日本はアメリカに次ぐ第2位の財団寄附を行っている。もっと財団プログラムを使って効率的に奉仕活動に取り組む必要があるのではないか。
未来の夢プロジェクトに挑戦しましょう。
ロータリー財団の資産はロータリークラブの資産よりずっと多く、地位としては四つ星で団体としての知名度や品位が高い。

○米山記念奨学セミナー

アルチャナ・シュレスタ・ジョン

(鈴鹿国際大・大学院生・鈴鹿西RC・ネパール)

- 演題「母国に生きる女性の自立支援を」
ネパールパタン出身、奨学期間2001-2002年度です。母国ネパールの貧困女性の自立支援組織の充実と拡大にがんばっております。
ネパールは現在、識字率45%、女性の地位の低さ、インドの経済支配、政治の不安定、等々があります。この中で女性が自立できるように、理美容・縫製等々の技術を学ばせ、社会参加できるよう勉強しております。



山田富義 会員

11月21日(日)は、朝から快晴で紅葉見物には、最高の日でした。

会場のリージョンプラザ上越は、25年くらい前、子供が小さい頃2回ほどプールに連れて行った思い出があります。

午前のプログラムは、セレモニーだけで時々、陽のあたる場所でタバコを吸い寒さに耐えていました。午後の記念講演は、演題は「アジア大交流時代の幕明と日本」。講師は、国際政治学者、浜田和幸さんです。

(アメリカ、ワシントン・ロータリークラブ、米日友好委員長歴任)

急成長を遂げるアジア諸国は「光と陰」の世界でもある。経済的には富裕層が続々と誕生し、中国では、約7,000万人の人々公害で苦しんでいるそうです。

これからは、環境、健康、絆が大切だと話されました。

印象に残ったのは、東山ガバナーが内ポケットからメモを取り出して、最後の挨拶ですと言われ、帰ってから調べましたら2日間で7~8回ありました。大変です。

最後に、体力と忍耐の一日でした。



会田二郎 会員

11月2日(日)、2560地区大会が東山ガバナー友絆…地域と共のテーマのもとに開会されました、地区大会に参加させていただきました。

約1,000名前後のロータリアン及び多数のゲストで東山ガバナーの御挨拶で始めました。

活動の焦点は「将来に夢を持とう」というガバナーの御意見でした。私はロータリアンとしてどんな夢があるのだろうと考えさせられましたが、地区大会では見つけることができませんでした。只、テーマである「友絆」は大切にしたいと思いました。

地区大会は8回ほど参加させていただきましたが今回はロータリーの会員のひとりとして感動を味わうことができなかったことを残念に思いました。

講師の浜田和幸先生のお話の環境、健康、友絆が最も重要ですとの力説に、その通りですと心からそう思いました。



西山徳芳 会員

大会の全体のプログラムの中で印象に残ったことを話します。午後からの報告の中で、国際奉仕委員会の報告で青少年交換受け入れ一年交換学生でアメリカからやってきた17歳の女子学生フリップ

さんが敬和学園からやってきて、驚いたことについて話していた。

食べ物で納豆が好物だ、梅干しと言う、初めから好きだったのではなく、ものの本に日本にはこんな奇妙な食物があるのを聞いており、ホストファミリーで一回目、初めて見たときは、茶色く粘々していて、腐っているような匂いがしてやっとの思いで食べた。しかし次からは美味しく感じられるようになり、次は梅干しにも挑戦した。酸っぱいとチョット甘く、

しかもしょっぱい、口にして味のバランスの奇妙さはあるが美味しい食べ物と思えるようになった。

クラスメイトに話すと、私は嫌いだあんな気持ちの悪いものを食べたの、あり得ない。

二度挑戦して好物になれた、人の交流も自分次第、付き合ってみてなかには嫌いな人もいるが、嫌わずに付き合い続けると、長い時間のうちに好きになれば、楽しいです。ロータリーのみなさん機会を与えていただいていたありがとうございました。

自分に同じことができるだろうか、未知の得体のしれない食べ物に挑戦したり、ヤダなチョット敬遠したいなと付き合いは避けてしまう。自分に与えられた貴重な機会を活かしてみたい、若いからできるのが、未知を知りたい好奇心が自分自身を動かす、彼女はこれからどんなことに出会えるのだろうか、大いに興味がある。





次週例会 12月8日 会員卓話 中村光一 会員

次々週例会 12月15日 会員卓話 渡辺勝利 会員

